

5月の主な行事予定

日	曜日	内容	放課後遊び
1	月	委員会活動② 安全指導 ふれあい月間(児童個人面談)【～31日】	○
2	火	遠足(1・2・3年)	○
3	水	憲法記念日	
4	木	みどりの日	
5	金	こどもの日	
6	土		
7	日		
8	月	クラブ活動① 青葉読書週間始【～19日】	○
9	火	放課後鼓隊 6年移動教室【～13日】	○
10	水	6時間授業	○
11	木	放課後鼓隊	○
12	金		○
13	土		
14	日		
15	月	5時間授業	×
16	火	総合鼓隊 避難訓練	○
17	水	5時間授業	○
18	木	放課後鼓隊 たてわり清掃	○
19	金	4年若郷キャンプ【～20日】	○
20	土		
21	日		
22	月	6時間授業 プール清掃(5・6年)	○
23	火	総合鼓隊 遠足予備日 プール清掃予備日	○
24	水	6時間授業 5年移動教室【～27日】	○
25	木	放課後鼓隊	○
26	金		○
27	土	トライアスロン大会	
28	日		
29	月	委員会活動③	○
30	火	総合鼓隊	○
31	水	5時間授業	○

※スクールカウンセラー来校日：9日(火)、18日(木)、24日(水)、30日(火)

- 【生活指導目標】 きまりを守って行動しよう
- 【安全指導目標】 校内での安全な過ごし方を考えよう
- 【保健指導目標】 健康な習慣を身に付けよう
- 【給食指導目標】 朝ごはんを食べよう



新島 学びの庭

No. 110 5月号
平成29年4月28日
新島村立新島小学校
学校だより

自己肯定感の高まりを目指して

校長 加藤 謙二

新年度が始まり、一か月が過ぎました。子供たちは、それぞれ目標をもって生活できているようです。ところで、ここで肝心なことは、どの子にも言えることですが、目標とは、そう簡単には成し遂げられないものだということです。学年が上がるにつれ、目標の程度が上がるので、この傾向は強くなると思います。そこで、大切なことは、簡単にあきらめないことです。また、これまでと何かを変える工夫と努力です。

先日、卓球の平野美宇選手が、中国・無錫で開催されたアジア選手権で史上最年少優勝を飾りました。世界ランキングが一位や二位の中国選手を次々に破り、優勝したのです。昨年開催されたリオオリンピックに日本代表として選ばれながら、実際の試合に出られなかった悔しさがあったのだと思います。平野選手は、今のままではダメだと思い、相手のミスを待つ守備重視から攻撃

型へ、自分のプレースタイルを変えました。しかし、幼い頃から培ってきた土台をいったん壊し、新たな土台を最初から作り直すことは、簡単なことではありません。スタイルを変えてから初の公式戦で惨敗すると、「持ち味だった安定感を捨てて攻めたら、パワーが足りない。このまま、長所を全部なくしてしまったら、誰にも勝てなくなってしまう。そう思うと、胸が苦しくなった。」と不安を打ち明けています。でも、振り返れば、この時点で心が折れなかったことが、今回の快挙に結び付いたと言えます。

平野選手のこの言葉以外に印象に残ったことが二つあります。一つは、「常に目標をもつ」ということ。「昨日の自分よりも成長したい。」という思いを自分のモチベーションにして戦ってきたということです。そして、もう一つが、「逆転力」です。「自分が苦戦に陥ったときや形勢が悪いときでも決してあきらめず、強い精神力と集中力で逆転につなげていった」そうです。

子供たちには、毎日の生活の中で目標に対して工夫したり努力したりすることに加え、振り返りをしっかり行い、次につなげていこうとする姿を期待しています。一つの目標の達成という一歩が小さな自信となり、その積み重ねが大きな自信となると考えるからです。

本校の子供たちが更に自己肯定感を高めていけるよう教職員一同、支援していきたいと思えます。

学校の取り組み

特別支援教室 チャレンジ」より

特別支援教室担当 滝澤 雄一朗

「通級指導教室」と聞くと、馴染みのない言葉に、身構えてしまう方もいるかもしれません。しかし、その実態は、一人一人のつまずきを改善していくことのできる『きっかけの場』です。

通常の学級に在籍している子供たちを対象にしている「チャレンジ教室」は、子供たちの困り感の原因を見つける所から始まります。その後、その困り感に寄り添い、根本的な課題の解決を目的とした学習を行っていきます。

学習内容は、子供たちがそれぞれに抱える困り感によって変わってきます。学習に関することであれば、学習をしていくために必要な力を育てるための学習や既習事項の確認などを行います。一方、対人関係に関することであれば、コミュニケーション能力を育てるために、言葉の意味を理解したり、言葉で表現したりする力などを身に付けていきます。これ以外にも、目的に応じて、様々な教具を用いたり、環境を操作したりすることにより、柔軟に対応することが出来ます。

今年度は、市川と滝澤がチャレンジを担当しますが、担任とはもちろんのこと、スクールカウンセラーや専門・医療機関等とも連携をとり、よりよい支援の方法を検討します。その際、個人の秘密は固く守られます。

学年が下になればなるほど、子供たち自身が自分の困り感に気付くのは難しいと考えられます。子供たちと生活する中で、御家庭で気付いたこと、お困りのことがあったとき、そして、お子さんの口から困り感について話があったときなど、一人で悩まず、お気軽に御相談ください。質問のみでも受け付けています。



チャレンジ教室 →

→ 教具として使うタブレット

一年生を迎える会

特別活動担当 土橋 弘明

「一年生が入場します。」児童委員会の司会の言葉を合図に三年生が準備してくれた花のアーチをくぐって一年生が元気に入場してきました。一年生の自己紹介では、名前、自分の好きな物を発表しました。一人一人大きな声で発表する姿に、小学校生活を頑張るぞ、という意欲が伝わってきました。「にじ」の歌も、伸び伸びとリズムののって披露しました。二年生からメッセージ付きペンダントを受け取ったときは、嬉しそうにしていました。

四、五、六年生は、一年生の前で初めての鼓隊演奏を行いました。堂々とした音が体育館いっぱいに響きわたり、その迫力に一年生も圧倒されていました。きつと一年生の目には、高学年のお兄さん、お姉さんの姿がかっこよく映ったことでしょう。「早く自分も鼓隊をやってみよう」と憧れをもつてくれるとうれしいですね。

児童委員会の司会進行も新体制になって準備期間が短い中、とても上手でした。

これからも様々な行事の中で、全校みんな仲よく交流してあげたいと思います。



離任者挨拶

朝、都電がガタゴトと走り抜ける音や踏切の警報音で目が覚める今日この頃です。短い期間でしたが、新島の青い海と澄み渡る青空の下で過ごした日々は生涯の宝物です。個人的に冬場の西風も好きでした。皆様との出会い、生きていくこと、生かされていることに感謝しています。

前事務 山岸 祐一

新島小学校のみなさん、お元気ですか？

私は四月から世田谷区立北沢小学校で、新島小学校の約倍の百七十一名の子供たちと、にぎやかな毎日を送っています。

新島小学校や新島の方々の温かさ、きれいな海や星空、おいしい明日葉など、新島で過ごした三年間は、私の人生においてとても貴重でかけがえのない幸せな時間でした。本当にありがとうございました。「夏休みに遊びに行きたいな」と思っているの、島で見かけた時には、ぜひ声をかけてくれると嬉しいです。

みなさんがいつまでも元気で、そしてたくさんの幸せに付き、笑顔溢れる日々を送れるよう、遠くから願っています。

前養護 中野 唯衣

明るく、元気で、素直な子供たちと、様々な経験をさせていただいた事が、私の人生にとって最高の宝物になりました。これからも、新島・新島小学校の素敵なところを新宿の子供たちにたくさん伝えていきたいと思っています。

保護者・地域の皆様には、家族共々、温かく接していただき本当にありがとうございました。今後とも、この縁を大切にしていければと思います。三年間、大変お世話になりました。

前チャレンジ学級担当 鶴岡 潤一